

小児看護学実習

単位数（時間数）：2 単位（90 時間） 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講時期：通年

科目責任者（職位・氏名）：教授・濱中喜代

科目担当者（職位・氏名）：助教・遠藤麻子

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：77

■ 授業概要

健康な小児の保育場面を通して小児の心身の発達や生活及び生活援助を理解するための基礎的能力を養う。さらに病棟及び外来における様々な健康障害の段階にある子どもへのかかわりを通して、疾病・入院が小児に及ぼす影響を理解し、様々な健康段階にある子どもを、一人の価値ある人間として捉え、子どものもつ可能性を最大に引き出せるよう、対象の必要に応じた看護ができるための基礎的能力を養う。

■ 到達目標

1. 健康な小児の保育場面に参加し、地域で暮らす小児の発達や生活および生活援助の仕方について理解し、説明できる。
2. 小児を取り巻く環境（家庭・保育施設・病院・地域社会など）について理解し説明できる。
3. 健康な小児の心身の発達を正しくとらえ、疾病・入院が小児の発達に及ぼす影響を理解し、説明できる。
4. 小児と両親（保護者）の関わりの意義、および役割の重要性を理解し、説明できる。
5. 個々の小児の発達段階および健康段階・障害に応じた援助ができる。
6. 保健医療チームの一員としての自己の役割を認識し、活動に参加できる。
7. 自己の小児観を育てる。

■ 教育内容

小児看護学

■ キーワード

発達や生活および生活援助、健康のさまざまな段階にある子ども、疾病・入院が小児の発達に及ぼす影響、発達段階および健康段階・障害に応じた援助、自己の小児観

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

月・日（曜日）	授業内容・授業方法	担当
令和6年 7月22日（月）～8月2日（金）、 9月2日（月）～9月27日（金）、 11月5日（火）～11月15日（金） 11月25日（月）～12月20日（金） 令和7年 1月14日（火）～1月24日（金）	<p><実習方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 保育施設実習：保育者の子どもに対するかかわりの意図を考えながら保育活動に参加し、子どもを観察するという方法で実習を行う。発達段階の異なる2つ以上のクラスで実習し、学内学習日に学びをカンファレンスで発表する。 2) 病院施設実習：実習期間中、病院施設実習では健康が障害された子どもを1名受け持ち、看護過程を展開する。 <p>※詳細は実習要項参照</p>	濱中 遠藤

■ 先行要件

小児看護学概論、小児看護援助論、小児看護技術論の単位を修得していること。

■ 成績評価方法

実習内容、実習記録、自己評価票等により総合的に行う。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・実習内容、実習記録については臨地で随時フィードバックを行う。
- ・実習記録はコメントを付して返却を行う。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版

■ 参考書・参考資料等

臨地で随時提示する。

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

なし

■ 担当教員からのメッセージ

これまでの学習の復習を行い、総合して実習に臨んでください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

臨地で随時対応します。実習オリエンテーション時に担当教員の連絡先を提示します。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

看護師 保育士

■ 実務経験を活かした教育内容

病院や保育園での病児や健康な子どもの看護実務経験や保育経験を踏まえ、病院や保育園における実習指導を行っています。